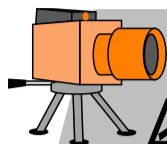


代表・一般質問



本会議の録画中継は区議会ホームページでご覧いただけます
ホームページ http://www.gikai-adachi.jp

区政を

一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているものとしてとらえている。

いじめ防止プログラムの導入や防止マニュアルの作成が必要だ

【問】教育委員会は、専門家の意見を聞いた上、防止プログラムの導入や、防止マニュアルの作成が必要と思うがどうか。

【教育指導】いじめの防止及び早期発見のため、具体的な方策等を校長会で指導したり、通知を配布する等行ってきた。

また、全児童・生徒を対象にアンケート調査を実施し、いじめの実態把握と対応に努めている。今後は、各学校の効果的な実践例等を集約していく。

さらに、次年度には、学校と連携して委員会を立ち上げ、防止マニュアルを作成する。



いじめ自殺を止めるための具体的な対策が必要だ

【問】いじめ自殺を止めるには、家庭や地域との協力が不可欠だ。教育委員会は、具体的な対策が必要と思うがどうか。

また、問題解決に向けての強い意思表示を伺う。

【教育次長】いじめ防止には、学校・家庭・地域・行政の協働での取り組みが不可欠であり、教育委員会はその先頭に立ち、それぞれをつなぐ役割を全力で果たさなければならぬ。

また、ケーブルテレビを通じ、いじめ防止を呼びかけたり、電話相談体制の充実や、アンケート調査等の実施で、いじめの未然防止と早期発見に努めている。毎日使う箸を持ち歩く「マイ箸運動」を行ったらどうか。

【問】区は、ペットボトル回収等にインセンティブをつけている。その狙いは環境対策への区民参加である。ならば、全区民が参加可能な、箸を持ち歩くマイ箸運動を行ったらどうか。

【環境】環境悪化への対応は、区民の環境に対する意識改革、実践行動が不可欠であり、毎日使う箸は、環境意識を動機づけるのに最適である。あだちエコネット事業の一環として実施できるかどうか検討していく。

公金徴収に工夫をこらして医療福祉の基盤安定を！



自由民主党

市川 伯登 議員

お米が当たる抽選式徴収インセンティブ制導入の効果はどうか

【問】私が提案していた抽選式徴収インセンティブ制が、特別区民税・都民税の口座振替促進キャンペーンに導入されたが、どの程度の効果があったのか。

【区民】途中経過では、特別区民税・都民税の口座振替申込み数は、430件と前年の1.5倍程度増加し、効果はあるものと考ええる。国民健康保険へのインセンティブ制の導入はどうだったのか。

【問】国民健康保険でも導入を検討中と決算特別委員会で回答があったが、検討状況はどうか。

また、民間金融機関では宝くじ付定期預金が一般化している。口座振替促進のために宝くじを導入すべきと考えはどうか。

【区民】国民健康保険料は、平成19年度に口座振替キャンペーンを計画している。景品・時期等は、特別区民税・都民税の実施結果等を踏まえ、より効果的な方策を検討していく。

公共施設再配置の中でバリアフリー化を計画的に進めるべきだ

【問】国は、障害のある児童・生徒のための整備や、地域施設としての利用も、国庫補助の対象としている。公共施設再配置の中で、国庫補助等も有効に使い、既存校のバリアフリー化を進めるべきと考えはどうか。

また、答申後の計画に、区内施設のバリアフリー化を織り込むべきと考えはどうか。

【教育次長】既存施設のバリアフリー化は、障害のある児童・生徒の入学時に対応し、既に66校で対応済みである。

また、公共施設の再配置は、今年度中に答申が出て、次年度以降、行政計画を策定する。学校の施設更新等で周辺施設を複合化する際は、ユニバーサルデザインを前提に計画していく。

【問】新設校のバリアフリー化に対し、事後的な検証も必要である。実施状況はどうか。

また、多くの学校で施設更新があるので、事後的な検証を反映させるべきと考えはどうか。

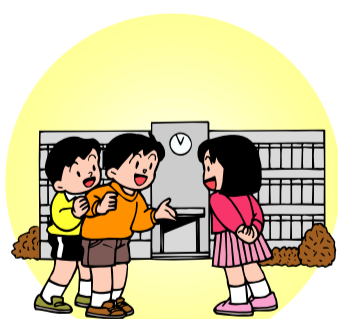
【教育次長】新設校は、ユニバーサルデザインの視点で設計を

足立区議会公明党

震災時対策の整備を進めはるかぜ新路線の実現で区民の交通不便解消を！



公明党 小泉 ひろし 議員



以降、行政計画を策定する。学校の施設更新等で周辺施設を複合化する際は、ユニバーサルデザインを前提に計画していく。

行っている。開校後は、学校等の報告により改善を図っている。これらの報告・改善点を今後の施設更新に活かしながら、ユニバーサルデザインの趣旨を徹底した施設づくりに努めていく。

【問】新設校のバリアフリー化に対し、事後的な検証も必要である。実施状況はどうか。

また、多くの学校で施設更新があるので、事後的な検証を反映させるべきと考えはどうか。

【教育次長】新設校は、ユニバーサルデザインの視点で設計を

鈴木区長の2期、約8年間の所感を伺う
【問】区長は就任以来、数々の公約を掲げ区政に取り組んできたが、思いや願いをどのように実現してきたのか所感を伺う。

また、2期目の仕上げと言え平成19年度予算の編成を行うに当たってどのような事に重点を置いていたのか伺う。

【区長】足立区の発展のため、区民の幸せのために全力を挙げて区政に取り組んできた。様々な事業・施策を実行し、明るく美しい足立の未来へとつながる確かな基盤を構築できた。

また、平成19年度予算編成に当たっては、これまでの取り組みの上に、新たな飛躍に向け、行政運営方針に掲げた10の重点項目を十分踏まえた上で、行財政資源の配分を行っていく。

災害時の備えの充実を！
【問】広域避難場所は、地域的なバランスを配慮し整備すべきだが、西新井地域等の空白地域をどのようにするのか伺う。

また、区は各種防災訓練等を行ってきたが、各職場・職員役割と手順の行動フローチャートを作成すべきと思うが伺う。

【問】25地区町会・自治会連合会等が行う地域活動費支援を行うべきと思うがどうか。

また、町会・自治会が活動拠点として会館・集会所等の建設や土地の購入等を行う際の助成を拡大すべきと思うが伺う。

【区民】基本計画で、地区町会自治会連合会を地域自治組織の



町会・自治会などが行う地域活動への支援を！

【問】25地区町会・自治会連合会等が行う地域活動費支援を行うべきと思うがどうか。